

皆様、

2023年6月

このほどパリにルネサンス・フランセーズの世界総会とソルボンヌ大学におけるフランス海外科学アカデミー100周年記念シンポジウムに参加するために行ってまいりました。以下、簡単な報告です。

瀬藤澄彦

ルネサンス・フランセーズ世界総会 2023 報告

2023年6月6日 14時30分～19時30分

会場:パリ16区ラ・ブルーズ通り 海外科学アカデミー2階式場

フランス全国規模の第14回目の年金改革反対デモの影響で参加者の数が少し影響を受けた。定刻より10分位遅れて開始。議長席後段の上の画像では世界のRF会員の多くのズームでの出席があった。ポルトガルからは元貿易大臣の同国RF会長の出席もあった。日本側からはパリ会場に對面で瀬藤、中野眞帆子氏、ゲストで在パリ日本文化会館館長・鈴木仁氏、元産経新聞パリ特派員・山口昌子氏、ピアニストの中野眞帆子氏の3名が對面出席、オンライン・ズームで山中きよみ氏、森由美子氏、山口邦子氏らの出席が最後まであった。この場を借りて深く感謝したい。

ファダ世界会長の司会で開始。世界会長より以下の報告があった。

第1部 総評

1 新たに創設された各代表部からの對面で報告があった。①チュニジア代表部、チュニジア政府からの祝辞が寄せられた。②ポルトガルの新設RF会長の挨拶、③リビア代表部、④アルジェリアのアルジェー大学、⑤南米のエクアドル、⑥フランスのアルザス地方代表部、⑦コルシカ代表部、⑧モーゼル代表部、⑨アルデーシュ代表部。約10カ所の新たな代表部が内外に創設され、組織が急成長していることを実感した。

2 ファダ世界会長より上記以外のRF代表部の紹介があった。①冒頭に日本代表部の積極的な活動、シモーヌ・ヴェイユ薔薇植樹が特筆されるとの写真入りの紹介があった。同時に6月3日のバガテル公園のシモーヌ・ヴェイユ薔薇植樹式、②以下、レバノン、ジョルジア、モロッコ、アルジェリア・アルジェ大学R発足の記憶大賞表彰、エクアドル代表部発足、プロヴァンス・アルプ・コートダジュール、など新規の事業やRFオープンに向けた世界各地の動きがファダ会長より紹介。

第2部 表彰式

ファダ会長よりRFJ瀬藤澄彦へのルネサンス・フランセーズ大賞授与の理由説明

壇上でのメダルと賞状の授与

終了後、隣接間でレセプション 日本文化会館・鈴木仁館長、元産経新聞特派員・山口昌子氏、RF 会員ピアニスト・中野真帆子氏の参列

フランス世界 Outemer 科学アカデミー100 周年シンポジウム参加

2023 年 5 月 26 日のソルボンヌ大学大講堂における outemer 科学アカデミー100 周年シンポジウムはおそらく 2000 人近い参加者の文字通りの地球規模の大シンポジウム大国際会議。圧巻でした。このグランド・サル・アンフィテートルは世界的歴史遺産でもある有名な場所。リシュリュー、デカルト、パスカルなどの多くの彫像が円形の壁にあって参加者を見渡している。ルネサンスフランセーズがその重要な共催者であることも誇らしいものです。4時間の講演、シンポ、対談、弦楽 4 重奏、独演、調印式を仕切った質の高い司会者ケリー氏の采配は見事であった。

ここにはフランスが植民時代の帝国主義国家だという違和感はなかった。コロナとウクライナで出口を失った世界の旧仏語圏諸国のリーダーたちは、この集まりをひとつの出口戦略にしようとするという言葉が飛び交っていた。

広い演壇には平和の象徴である大きなオリーブの木が両側に設置され、グアドループ出身のクリスティーヌ・ケリーの見事な総合司会はこの集まりを質の高いものにした。

新たなパンアフリカニズム、コロナとウクライナの後の世界への期待、英語文化支配に対抗する文化言語の多様性、アフリカ・南北アメリカ・太平洋と欧州の一体感、今、話題になっている「グローバル・サウス」をも超える地球の未来、そういう雰囲気が漂っていた。

こういう世界的スケールで、その多くが旧植民地国の集いをフランス政府も一緒になって開けるフランスという国のふところの大きさと偉大さを感じた。100 年後の次の 200 周年に集まろうとの呼びかけがすでにあつた。

パリ在住の RFJ 会員でピアニストの中野真帆子氏には最後までご一緒にこの歴史的な会議にご参加いただき深くお礼申し上げます。

ご参考：2020 年現在、フランスの海外県・海外領土は次の 6 つの地位に分類される。
海外県・海外地域圏 DROM：グアドループ、マルティニーク、ギアナ、レユニオン、マヨット
特別海外領土：フランス領南方・南極地域（インド洋無人島群を含む）

海外自治体 COM：サン・ピエール・ミクロン、ワリス・フテyna、サン・バルテルミー、サン・マルタン 海外地方 POM：フランス領ポリネシア 特別自治体 CSG (collectivité sui generis)：ニュー・カレドニア 政府直轄領：クリッパートン島